

にして右何れも次年度に於て實行さるゝ豫定なり

### 豫算及決算

次表の如く、大體に於て豫算に近き範圍を以て收支せるも、労働學校、圖書館に於ては事業不開始の爲め収入を見るに至らず。

事業費に就ては事業月七ヶ月に準じ減少し居り、事務費又同斷なるも特に過少なるは、事務の爲めに供給を支給する餘裕なきため總て犠牲的勞力を得無給の状態にあり。豫算以外の收支に於ては日本労働學校助成金として慶福會の補助金を受領し、支出に於て地租及家屋税の科目を落脱したるによる。本年度豫算及決算次の如し。

### 豫算及決算報告

自 昭和六年四月二十三日  
至 昭和七年三月三十一日

収入之部		支出之部			
科 目	豫 算	決 算	科 目	豫 算	決 算
設立當初ノ現金	1,000.00	1,031.00	講堂使用収益	1,200.00	1,200.00
寄附金	1,410.00	1,410.00	圖書館収益	500.00	500.00
事務費	1,410.00	1,410.00	労働學校授業料	500.00	500.00
			講習會収益	500.00	500.00
			講演會収益	500.00	500.00
			空地利用収益	500.00	500.00
			労働學校ノ助成金	1,200.00	1,200.00
			計	5,200.00	5,200.00

### 事務及會議

- (一) 財團法人登記申請届
  - (二) 財團法人設立届
- 右二件は昭和六年九月中旬に届出手續完了せり

### 會議

- (一) 昭和七年三月十九日評議員會を開催し松岡理事長議長の下に左の二件を審議決定す
  - 一 本年度事業報告大要 承認
  - 二 本年度收支決算に於て剩餘金生じたる場合は次年度越金とす 可決
  - 三 昭和七年度豫算 可決
- 豫算内容左の如し

### 昭和七年度豫算

収入之部		支出之部	
科 目	金額	科 目	金額
寄附金	1,410.00	事務費	5,200.00
		計	1,410.00

(備考) 収入豫算中に計上せる公共助成金は左の五項目支出に於て必要缺くべからざる財源なるため、當局の慎重なる御考慮を得て補助を受くる豫定なり

支出項目		公共助成		計	
支出項目	金額	金ヨリ	計	金額	計
會館修繕費	500.00	計	500.00	500.00	500.00
日本労働學校教務費	500.00	計	500.00	500.00	500.00
圖書館書籍購入費	500.00	計	500.00	500.00	500.00
講習會教務費	500.00	計	500.00	500.00	500.00
講演會教務費	500.00	計	500.00	500.00	500.00
計	1,410.00	計	1,410.00	1,410.00	1,410.00